

# BELL

<編集・発行>No.227 2022/11/11 発行

編集：一橋大学附属図書館

学術・図書部 学術情報課

電話：042(580)8247

Mail：lib-contents@ad.hit-u.ac.jp



## 冬休み長期貸出のお知らせ

Winter Vacation Loans 2022

取扱期間 Dec. 12 - 28, 2022

返却期限 Jan. 12, 2023



- ・製本雑誌は対象外です。
- ・大学院生は学習用図書のみが対象です。
- ・千代田図書室も同日程での取扱です。
- ・MyLibraryからの更新が長期貸出扱いとなるのは、12/12 9時以降です。

### 他機関への複写物・図書 取寄申込み受付を停止します

(予定)2023年1月17日(火)  
~31日(火)

相互利用サービスのシステム更新により、上記期間(予定)は取寄申込み受付を停止します。【附属図書館/千代田キャンパス図書室とも】

- ・詳細は別途、図書館ウェブサイトお知らせおよびMyLibrary内の申込み画面でご案内します。
- ・システム停止の影響で、以下の場合があります。

①取寄資料の入手が遅くなる ②資料の貸出期間が短くなる



停止期間前に余裕をもってお申込みくださいますようお願いのほどお願いします。

大学院生の方へ  
《変更のお知らせ》

現物貸借公費サービス  
(2022年度)の締切日：  
2023年1月16日(月)

同じくシステム停止の影響で、申込み締切日を上記のように変更いたします。

他機関の資料を取り寄せるには

詳細は以下ページを参照ください。

<https://www.lib.hit-u.ac.jp/services/materials/ill/>



一橋大学附属図書館  
HITOTSUBASHI UNIVERSITY LIBRARY

MyLibrary ログイン

利用案内

他機関への複写依頼・図書取寄依頼

学内の方は、必要な資料が本学にない場合に、学外の図書館から取寄せることができます。

- ・学外の図書館から複写を取り寄せる
- ・学外の図書館から図書を取り寄せる
- ・複製権・現物複製に該当費用を外部資金で支払う

お申込み方法：▶MyLibraryにログイン  
▶マイページ▶文献複写・貸借申込み

お問合せ先：図書館ヘルプデスク

lib-helpdesk@ad.hit-u.ac.jp

## 「研究データの管理・利活用」

国の政策として、研究活動における自由や多様性、オープン・アンド・クローズ戦略などに配慮しつつ、大学等において研究データの管理・利活用を進めていくことが求められています。実際の研究活動や、分野による違いなど、推進するにあたっての期待や問題点についてお話いただきました。

福田 玄明 准教授

(ソーシャル・データサイエンス教育研究推進センター)

研究データの管理・利活用については、理化学研究所に所属していた時に、厳しい対応を求められたことがあります。扱う研究データとしては、実験を行った際の被験者の情報と結果、実験や解析で使うプログラムなどがあり、実験ノートなども含まれるのかどうかが気になります。研究データの定義を広くとった場合、研究者にとって縛りのある仕組みになりそうで、少し不安です。個人情報も扱うので、大学側で管理用のプラットフォームを用意してくれたとしても、何でもすぐにそちらに移るといったことはないと思います。一方で、自分の身を守るためにもデータを持っていることは大事だと思います。

公開に関しては、論文を投稿する際に、データの公開場所が指定される場合もありますが、大学でそういった場所を用意してもらえるのであれば助かります。難しいのは、みんなで公開するとみんなにメリットがあるけれども、自分がデータを公開しても自分にはメリットがないというところだと思います。もちろん公開する理由として、他の研究者のメリットになることと、自分が不正をしていないことの証明の2点があることは認識していますが、それだけではデータ公開の積極的なモチベーションにはなかなかつながらない気がします。特に実験して結果が出たら、その時点で研究はある程度終わっているとも言え、そこから論文を書き上げ、発表後にはデータを加工して公開するという作業は、多くの研究者にとって、1番しんどい作業にあたると思われます。



伊原 一 准教授

(経済研究所社会科学統計情報研究センター)

・図書館のデジタルアーカイブについて

統計の研究では、100年以上前の古資料を扱うことがよくあります。戦前の資料はリソースが限られていて現存資料を探すのが大変なので古資料の電子化を進めることで研究が進展し、新しい

発見に繋がることが期待できます。図書館は貴重な古資料の宝庫なので、歴史資料保存の観点からも古資料のデジタルアーカイブ化が進むことを期待します。

・研究データのリポジトリについて

学術論文については大学の機関リポジトリへの収録が進んでいますが、研究データについては公開できる形に整っていないことも多く、利用条件に制約があるデータや個人情報保護などの制約でオープンデータとして登録できないものもあるのでリポジトリへの収録は課題が多い印象です。

HERMES-IRは、本学のオープンアクセス方針や学術情報流通の動向に沿いつつ、本学研究成果のオープンアクセス化を支援しています。インタビューにご協力いただきました先生方、ありがとうございました。